

## 令和2年度 第3回理事会 議事録

日 時 令和2年12月12日(土)13時30分～14時25分

場 所 JRホテル日航札幌（ZOOM会議）

リモート出席者 生島典明、黒田謙二、渋谷研一、大江憲一  
印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一、浅野泰弘  
櫻庭功一、多田吉宏、春間好実、藤原 正  
鎌田勝広、西谷清之、宇野 要、柴田一徳  
松野清佳、前田賢一、永谷 稔、大西能正  
須田正毅

書面議決 紺屋正雄、家近昭彦、丸山道博、田中 淳  
佐藤敏夫、川埜保幸、高橋克徳、関原榮司  
志手典之、松本秀樹、奈良孝伸、宮原 勉  
福原英典、阿部 豊、畠山彩子、高坂 猛

### 1. 開 会

※総務委員長が、理事35名中20名のリモート出席、15名の書面議決予定があり理事会は成立することを報告した。

### 2. 会長あいさつ

新型コロナウイルス感染拡大が止まらない中、リモート会議に出席頂きお礼。このような厳しいコロナ禍で、高校選手権北海道予選会を規模を縮小しつつも全日程をトラブルもなく無事終了できたことは、関係各位のご協力の賜物であり深く感謝を申し上げます。最終日には、ファイターズの田中賢介氏と、北海道教育委員会の小玉教育長がそれぞれ知事賞、教育長賞の授与を行って頂いた。今後、高校では年明け2月に北見で新人大会が予定されるが、コロナの感染拡大が収束することを祈る。

また、V2リーグ参戦中の、ヴォレアス北海道、サフィルヴァ北海道は順調にリーグ戦を戦っており、先日は札幌市を準ホームとしたV1女子リーグのデンソーエアリービーズ戦とともに、初の北海道ダービーが戦われた。

本日の理事会では、今年度前期事業実施状況などの報告ほかについてご協議いただく予定ですが、慣れないリモート会議のため、ご協力をよろしく願います。

### 3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、大江副理事長、沓沢常任理事の2名を指名する。

### 4. 報告事項

(1) 令和2年度前期事業実施状況について

①総務委員会(理事会資料1Pの②理事会、③常任理事会の令和2年3月13日予定を令和3年に修正)  
・各種会議の開催、健全な財政運営、体罰・暴力・暴言などの根絶、新MRS登録について報告がある。

②競技委員会(理事会資料4P)

・委員会及び開催された大会の報告がある。大会運営は残り高校新人大会となる。

③審判委員会(理事会資料5P)

・3月4月の会議及び8月までの審判員指導育成事業は中止となる。

・日本協会カテゴリーレフェリーの推薦(強化・認定事業は中止)は下記の通り。

9人制 N1 島貫泰全氏(帯広)、N2 柴田一徳氏(名寄)、6人制 S1 佐藤美里さん(札幌)、S2 大塚健之氏(旭川)、坂本雅春氏、上總向貴氏(札幌)、S3 笹木宣拓氏(札幌)、川島秀夫氏(北見)、藤井靖香さん(札幌)、川崎尚子さん(旭川)、小瀧健二氏(日高)、宮澤彰恵さん(釧路)

・9月の大学秋季リーグより審判活動を再開する。

④導普及委員会(理事会資料6P)

・すべての事業が中止となる。選抜大会は地区選抜選出するだけで大会は中止となる。毎年1月に開催の2次キャンプを全道10地区に分けて分散開催を検討したが、市町村教育委員会の中で市町村を出ての活動を禁止するという市町村があり中止とした。

⑤強化委員会(理事会資料7P)

・会議は7月にチーフ会議を実施。全国JOCカップが中止となったが、2023年度北海道インターハイで最上級生となる中学3年生の強化をJOCカップ北海道大会として高校生の協力のもと実施した。

(2) 令和2年度一般会計執行状況について

・収入の部では、チーム賦課金が減、2月の高校新人大会参加料、各登録料がまだ入金されておらず、11,642,592円と約2百万の減、支出の部は、コロナ感染対策費を基本金の半額相当分を大会交付金として地区協会に支給、事業費の高校新人大会、総務委員会費、会議費、旅費、助成金等、請求されていない分、未実施の会議の旅費分を除き9,747,008円と約4百万円の減となっている。

○宇野理事(留萌) 予算執行状況支出の部の助成費について大会が中止となった、中体連、ヤング連の請求は無く小連は助成されているが、大会の助成では無く、運営の助成と考えて良いのか。

⇒助成費は各団体の運営費の助成としているため、中体連、ヤング連も今後請求があると思われるが、大会が実施されていないので満額の請求がされるかどうかは見極められない。(田中)

⇒中体連は今年度助成費の請求は考えているか(会長)

○前田理事(中体連) 中体連の助成費は中体連全道大会とJOC全国大会の旅費として使用していたため今年度の請求予定はない。

<令和2年度前期事業実施状況、一般会計執行状況は、リモート参加者からは承認される>

## 5. 協議事項

(1) 令和3年度以降の全道大会開催地について(理事会資料10,11P、別紙)

明がある。

<リモート参加者からは承認される>

(2) 令和2年度一般会計補正予算(第2次)について(理事会資料12,13P)

・田中総務委員長より2次補正について収入の部雑収入のその他にJVAよりコロナ対策費として都道府県協会に一律30万円の補助金の支給がある。支出の部では競技委員会の事業費を10万円減額としたが、高校選手権大会のコロナ対策備品として10万円を増額とした。また大会交付金として基本金の半額相当分をコロナ対策費として支給した。旅費を減額し、収支とも合計14,130,000円となる。

<リモート参加者からは承認される>

6. その他

(1) 日本協会関連

・渋谷理事長より日本協会関連もすべてリモート会議となっており、今年度功労者表彰が発表された。V2男子ホームゲーム及びV1女子サブホームタウンとして開催中であるが、近日中にVリーグを目指す新たな女子チームの記者発表が予定されている。名称は一般社団法人北海道レディーススポーツクラブ、チーム名はアルテミス北海道(Artemis Hokkaido)。ホームタウンを札幌市、サブタウンとして北広島市、千歳市、帯広市を予定。2023年Vリーグ加入を目指し、母体企業はIT企業の「日本ルクソールシステム」となる。

(2) 各委員会関連

・田中総務委員長より今年2月に落成したよつ葉アリーナ十勝(帯広市総合体育館)に北海道バレーボール協会から時計を寄贈し、12月1日に2基設置された。

○宇野理事 あいの里にPCR検査施設が開設されるが、大会実施において検査実施義務はあるか。

⇒大会実施において今すでに行われている感染対策をしっかりと継続しながら、今後上部組織等から検査が必要との要件が出てきた場合は対応していく。(田中総務)

○大西理事(実連) 11月15日に予定していた9人制バレーボール交流大会は新型コロナウイルス感染拡大により延期とした。男子8女子6チームの参加があり、年度内の開催を目指したい。

7. 閉会

【次回:令和3年3月13日(土)予定】

議事録署名人

会長

佐島典明 

議事録署名人

大江憲一 

議事録署名人

菅原亨一 